テーマ名：

申請者名：水島啓太、櫻井優真

【提案テーマ詳細説明】

1.なにをつくるか

既存のVRやARといったような仮想現実を謳う技術では視覚的、聴覚的な感覚しか得ることができず仮想空間上に出力される物体から質感を感じ取ることはできない。

そこで装着型デバイスを用いて皮膚に圧力や振動、温度変化などを与えて仮想空間上の物体に擬似的な質感を与え第二の現実空間として代替現実を創り出すことを目的とするシステムの開発を行う。

映像として出力されたものは当然ながら質量がないため触れることはできない。しかし、触れることはできなくても触れた感覚を与えることは可能ではないだろうか。

人の皮膚は圧力や温度の変化を感知する複数の細胞により触れたという感覚を得ており、手に限った話で言えばグローブ状のデバイスで

2.

銃のように形状に対して動作が制限されるものはデバイス側で可動制限を与える

3.斬新さの主張、期待される効果など

　　仮想デバイスとして出力したものから入出力が行えるようにする。例としては銃を

　　空間上に出力し引き金に手をかけることで銃弾の発射を行うなどである。

4.具体的な進め方と予算

　　4.1　開発は主に学校及び自宅で行う。

　　4.2　開発環境

　　　　自宅のPC